





百首和秋

永久四年十一月廿日

題

春十八首

元日

餘寒

春日

春曙

遊絲

賭弓

春日祭

石清水臨時祭

志賀山越

稻近何詣

未發花

紅梅

桃

落花

躑躅

雉

殘雪

蛙

夏十二首



賀茂祭

夏夜

夏草

瞿麥

扇

樹陰

避暑

夏虫

橋川

夏

蟬

水雞

秋十八首

殘暑

晚立

秋風

七夕後朝

八月十五夜

九月九日

秋夜

曉

嵐

稻妻

稷田

草香

葛

作

秋山

和虫

鈴虫

螢

冬十二首

霽

初雪

野初雪

落葉

大雪

折柴

菊

衾

北窓

貢調

仙名

舊年三首

冬十首

忍冬

隔一秋

經月

經年

隔冬

不月

且見

寢覺

待人

別志

雜三十首

雲石齋古極之仙妓
宮服

星水海社小唐
老人

出湯原故柳萍
七王泉
歌眼郎

琴和

麟
蛛

猿笛

けり此志るしもみえす有なる 大を

書目

おのくもよしし此秘けりあまー記は

流るるあまの書目く

記件

りもあまのけりけりはけりしと

けりしあまのけりしと

件美

あまのけりしと

くれあまのけりしと

後頼

あまのけりしと

月れりしと

忠房

けり此日の記をなれしと

くれあまのけりしと

善思

花もあまのけりしと

善れ見しと

善隆

しるる海のけりしと

あまのけりしと

大を

書目

あまのけりしと

あまのけりしと

記件

あまのけりしと

まいまいとありてはかたきん
 りふたあつりのけしきゆれ
 ちりちりくまゆきゆき
 うきうきゆきゆきゆきゆき
 ありあつれけりきゆゆれ
 山れゆきゆきゆきゆきゆき
 みどりおんゆりあまゆきのき
 ありあつゆきゆきゆきゆきゆき
 ゆきゆきゆきゆきゆきゆき
 ちりちりゆきゆきゆきゆきゆき

仲実
 俊頼
 忠房
 忠昌
 常隆

おと出きゆきゆきゆきゆきゆき
 ちりちりゆきゆきゆきゆきゆき
 ありあつゆきゆきゆきゆきゆき
 ひりりあつゆきゆきゆきゆきゆき
 見たりゆきゆきゆきゆきゆき
 ありあつゆきゆきゆきゆきゆき
 ありあつゆきゆきゆきゆきゆき
 ちりちりゆきゆきゆきゆきゆき

大志
 遊線
 俊伴
 仲実
 俊頼
 忠房
 忠昌

新井のやちてなるあらん
 仲実
 くれき井のむあえにきくうひすれ
 俊頼
 一志れ多あはつとにもあうれ
 忠房
 小舟の事もなうしきうれはあま
 忠房
 あうにそじうくれき井の梅
 忠房
 みうくれあしきあれいむえれえれ
 忠房
 うすられあわえもあうす
 忠房
 きうひあさかあうあうてうし
 忠房
 くれき井のうに梅のれ
 忠房
 けうもあうしきあれれき井の
 忠房

いまはさそじの梅のうのれ
 大進

桃苑

かさうしに校のうあうすりれ
 忠房
 くれき井のむあえにきくうひすれ
 俊頼
 うすられあわえもあうす
 忠房
 きうひあさかあうあうてうし
 忠房
 くれき井のうに梅のれ
 忠房
 けうもあうしきあれれき井の
 忠房
 いまはさそじの梅のうのれ
 大進
 忠房

春の風をよみてはらるる花の影
 おとよけよまけけりしめ桃の花 兼昌
 けしきぬくもれはけり花はさかあけら
 らしよすくしきまらけりしり 常陸
 こふ世へんまらけりしりしりしり
 まらけりしりしりしりしりしり 大正

落苑

春の風をよみてはらるる花の影
 おとよけよまけけりしめ桃の花
 けしきぬくもれはけり花はさかあけら
 らしよすくしきまらけりしりしりしり

春の風をよみてはらるる花の影
 おとよけよまけけりしめ桃の花
 けしきぬくもれはけり花はさかあけら
 らしよすくしきまらけりしりしりしり
 みよあけりしりしりしりしりしり 出房
 春の風をよみてはらるる花の影
 おとよけよまけけりしめ桃の花
 けしきぬくもれはけり花はさかあけら
 らしよすくしきまらけりしりしりしり 兼房
 春の風をよみてはらるる花の影
 おとよけよまけけりしめ桃の花
 けしきぬくもれはけり花はさかあけら
 らしよすくしきまらけりしりしりしり 常陸
 春の風をよみてはらるる花の影
 おとよけよまけけりしめ桃の花
 けしきぬくもれはけり花はさかあけら
 らしよすくしきまらけりしりしりしり 仲実

新しきおのちも忘れぬ世に 大を

躑躅

三河のさくらありてもやせらさう

日く枝よ花れはさきにさうれ

くれる井はありてれ多のさう

いもま神小あやまふれさう

日くまえぬやうすもはらう

ま〜れくもみふさう

風もくてもれはるやとさう

いさう〜さう〜さう〜

大を

石伴

仲実

俊頼

忠房

いり日さすもれさうれさう

ゆらける井はさうはらう

おけまらやつ〜れさうはらう

あつれすそはさうはらう

なう〜〜はらう〜ゆら〜はらう

わくさ〜〜ゆら〜ゆら〜ゆら

雉

あられ〜や燈籠にさう〜ゆら〜ゆら

さ〜〜ゆら〜ゆら〜ゆら

さ〜〜ゆら〜ゆら〜ゆら

兼忠

常陸

六を

石伴

なまそはくくもゆかすもはくひす
くもくもくもくもくもくもく
のうらぬくもくもくもくもくもく
なまそくひすもくもくもくもく
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
まもくもくもくもくもくもく
人を

蛙

まろくせぬの月かりの月をほみ
くはくはくはくはくはくはく
まろくもくもくもくもくもく
歌伴

くろくもくもくもくもくもく
何くもくもくもくもくもく
これくもくもくもくもくもく
まろくもくもくもくもくもく
はくもくもくもくもくもく
くろくもくもくもくもくもく
水草もくもくもくもくもく
くはくもくもくもくもくもく
井もくもくもくもくもくもく
まろくもくもくもくもくもく

仲実

信教

出房

意高

常法

巻四

三

吹よすうきは下そくく〜
秋もま〜
もりた〜
冷〜
な〜
五川〜
な〜
木〜
お〜
雨〜

仲夏

後秋

出房

意昂

常陸

夕の木陰小日傾〜

避暑

ま〜
も〜
お〜
ま〜
も〜
す〜
海〜

秋仲

仲夏

後秋

出房

たしあきりて身とこすらん 大を

鶴川

こきおほくくす何しん川小

やれつれて船子さりて 弘仲

行つてさういひれりあけまは

秋川ろそもすの海らるる 仲実

あつたれはけふなれすす 越え

さうとれくあぢらじし 俊頼

小長すあぢら川りあつたれ

かけらあぢら川りあつたれ 忠房

うらひあつてみえはるは

いささしんあぢらけり 常

かひの海つ鶴あぢらけり

あぢらあぢらけり 常陸

大井川うらひあぢらけり

あぢらあぢらけり 大を

夏編

たしあきりて身とこすらん

あぢらあぢらけり 弘仲

あぢらあぢらけり 忠房

かりきりしにありつれつ
 仲実
 ありつれにむらりしを結け
 後頼
 あつふ阿つふもこの世に
 出房
 ありつれにむらりし野ふり
 出房
 秋ふり阿つふにむらりし
 出房
 袖ふりすつる阿つふにむらりし
 われ
 一しむらりしむらりし
 出房
 ありつれにむらりしむらりし
 出房
 かりれもあつふむらりしむらりし
 出房
 つらむらりしむらりしむらりし
 出房

ありつれにむらりしむらりし
 大徳

蟬

や海川にむらりしむらりしむらりし
 仲実
 谷ふりむらりしむらりしむらりし
 仲実
 ありつれにむらりしむらりしむらりし
 仲実
 ありつれにむらりしむらりしむらりし
 仲実
 ありつれにむらりしむらりしむらりし
 仲実
 ありつれにむらりしむらりしむらりし
 仲実
 ありつれにむらりしむらりしむらりし
 仲実
 ありつれにむらりしむらりしむらりし
 仲実
 ありつれにむらりしむらりしむらりし
 仲実

〇廿二

たれもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息

毒

いふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息
をいふもわかれぬまをいれ一息

くせと水難れ人さうあがり
くせと水難れ人さうあがり
くせと水難れ人さうあがり
くせと水難れ人さうあがり
くせと水難れ人さうあがり
くせと水難れ人さうあがり
くせと水難れ人さうあがり
くせと水難れ人さうあがり
くせと水難れ人さうあがり
くせと水難れ人さうあがり

仲実 俊頼 忠房 魚田 常陸

かゝ水龍乃一まつりり一々
たむ

